

会 告 (I)

日本鉄鋼協会第 52 回秋季講演大会講演募集

今秋10月中旬広島市において開催の講演大会に於て講演御希望の方は下記要領お含みの上奮ってお申込み下さい。(開催日時は後でお知らせします)

- (1) 講演申込期日 昭和 30 年 6 月 20 日 の締切を励行いたします。
- (2) 講演申込先 東京都千代田区丸の内2の10 仲 14 号館1号日本鉄鋼協会宛
- (3) 申込用紙 ハガキ大の紙片に (a) 講演題目; (b) 講演者 (学位, 称号, 振仮名付氏名), 連名のときは実際の講演者に○印を附すること; (c) 幻燈の要否, 以上お書き下さい。
(講演時間は 20 分以内とします)
- (4) 講演前刷用原稿 申込と同時に講演前刷用原稿をお送り下さい。前刷原稿は協会所定の 400 字詰原稿用紙 6 枚以上 10 枚以内とし, 図表ある場合はこの枚数内にて 3 個以内とする (3 個で原稿用紙 5 枚に相当) 但し例えば Fig. 1 (a) (b) (c) (d) 等の並列図は紙面を多く取りますのでお避け下さい。詳細な図表は講演会場で発表して頂き後で論説として御寄稿の際に御添付願います。尚, 図面は寄稿規定に従っておかき下さい。(原稿用紙は 1 冊 30 枚綴り 30 円, 送料 8 円でお届けします (原稿の冒頭には講演題目 (英訳併記), 勤務先, 講演者氏名を明記して下さい。)
- (5) 講演前刷原稿の 図面及数表中 の文字は必ず欧文にてお書き下さい,
- (6) 講演前刷原稿は研究の 内容が予め充分了解出来るようにして特に研究の結論を詳細に御記載下さい。
- (7) この講演前刷は会誌『鉄と鋼』昭和 31 年 9 月号として刊行致しますので編集及び印刷の都合上締切後の受付は致しませんから 原稿は期日迄に必ず御送付願います。
- (8) 講演される方は 会員に限りますので, 会員外の方で講演御希望の方は入会の手続終了後御申込み下さい。

会 費 改 正 に つ い て

去る 4 月 1 日開催の第 41 回通常総会において次の通り会費の改正が議決されました。

正会員 1ヶ年金 1,200円. 学生会員 1ヶ年金 800円

昭和 31 年 7 月 1 日より実施

本年度会費未納の方は下半期分としてそれぞれ金 100円を追加お払込み下されたく, 又既に御払込み済の方には後日追加分請求いたしますから, 御諒承願います。

会 告 (II)

第6回品質管理大会**品質管理討論会講演募集要綱**

品質管理討論会も会を重ねるにしたがつて盛大となり、昨年の第5回品質管理大会は19学協会、団体の共催で行い、100余の講演があり、活潑な討論が行われました。今年も品質管理界の一大年中行事として、来る11年に第6回大会を開催することになりました。

品質管理は技術者や研究者が互に討論しあうことによつて進歩するものであり、他産業の実施例も互に益するところ大であります。したがつてこの機会に、なるべく多くの方々から、実施成果、研究成果、新提案などを発表されることを希望します。下記により講演を募集いたしますから、ふるつて応募していただきたいと思います。

1. 内 容

品質管理並びに統計的方法の応用に関する研究発表、たとえば各種工業における品質管理のやりかた、効果、考えかた、管理プログラム、標準化、検査、品質規格、管理図、実験計画、相関分析、サンプリング、抜取検査、自動制御、管理試験、計測管理、設備管理、熱管理、倉庫管理、安全管理、事務管理、原価管理、市場調査、オペレーションズ・リサーチ、教育普及方法及び用具、組織など。

2. 開催月日

昭和31年11月19日(月)～23日(金)

備考：11月24日(土)はデミング賞受賞者報告講演会

3. 場 所：東京大学の予定**4. 講演時間：1件20分(討論10分)****5. 申込締切：8月10日**

参加部会名・題目(400字詰原稿用紙1枚以内の講演要旨添付のこと)・所要時間・発表者氏名ならびに所属会社、工場名を記載して、切手で30円(原稿用紙および郵送料)同封の上申込むこと。

6. 申込および報告送付先

品質管理大会準備委員会(東京都中央区京橋1の2 大阪商船ビル、日本科学技術連盟内)

7. 報告予稿締切：9月10日

講演者は必ず報告予稿を提出のこと。

指定の400字詰原稿用紙10枚以上20枚以内厳守(20枚以上のときは返送して再提出をもとめるか、あるいは当方で適宜削除します)

指定の原稿用紙および報文記載要領は申込到着とともに送付します。

報文は活版印刷とするので特に期日厳守されたいし、その他報文記載要領参照。

8. 主催団体(順不同)

日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本化学会、電気通信学会、日本薬学会、繊維学会、繊維機械学会、電気学会、日本分析化学会、日本鋳業会、日本鋳業協会、全国炭鋳技術会、高分子学会、日本工業経営学会、日本規格協会、計測学会、燃料協会、米国品質管理協会日本支部、デミング賞委員会、日本化学技術連盟

[備考] 今年には別にテーマをきめて、講演を募集する予定です。